

ケアリング

まいあーじゅふ千通信

2022年7月号

8月に入りました。連日、熱中症アラートが出るほどの酷暑が続いています。東北の方では洪水などの被害も出ており、熱と水に対しての意識を強く持つ必要があると感じるところです。

熱中症や線状降水帯にも注意が必要ですが、宮崎県下、コロナ感染者が爆発的に増えてきています。人口10万人に対しての感染者比率も全国トップ10に入っており、九州全体が高い比率で感染増加しています。経済活動と感染予防の同時進行が必要なのはわかるのですが、医療福祉側からするとこれ以上は、水際対策等でも防ぎきれないところまでコロナウイルスが迫ってきていると言わざるを得ない状況です。

経口薬での治療が可能になる前に2類→5類へ格下げしてしまうと、もう感染を止めることはできないだろうと考えているところです。生活弱者にとっては、とても厳しい状況になることが予想されます。この通信を書いている段階では、基礎疾患のあるかたや後期高齢者はできるだけ人の集まる場所への外出を控えるようにと、連日報道されています。また我々、医療福祉関係者に対しても同様の要請が来ています。

様々な業種や人々の、様々な意見や都合があると思われます。一つの答えで解決できるほど世の中は単純ではありませんので、今後の世の中の流れを見ながら自分たちの手の届く範囲で、できる限りのことを行っていくしかないかと思うところです。

※宮崎県下、感染急拡大に伴いまして面会については、ガラス越しの面会となります（ドアは開けることができません）

※感染の疑いについて早期発見できるよう、管理者が中心となり、毎日の検温の実施、食事などの際における体調の確認を行う等により、日ごろから利用者の健康状態や変化の有無等に留意する。

※職員の健康管理に留意し、出勤前の体温計測を徹底。発熱、咳などの症状が認められる場合には出勤しない・させないこと。

※感染が疑われる場合、「新型コロナウイルス感染症受診・相談センター0985-78-5670」に相談する事。速やかに当該施設内での情報共有を行い、当該利用者の家族などへ報告を行う。PCR検査を行った場合、宮崎市介護保険課事業所指導室に直ちに報告する事。

※ご不便をおかけしておりますが、面会の時間については13時～14時の間で前日までのご予約をお願いいたします。※県外在住のご家族様面会につきましては、宮崎市内に帰省後、2週間は面会ができませんので、ご了承のほど、よろしくお願いいたします。

それでは、7月の皆様の活動内容をご覧ください(*^_^*)





